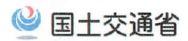


# ミズベリング信濃川やすらぎ堤について

## これまでのやすらぎ堤と整備効果



■川沿いにマンションが増えた！

■やすらぎ堤を年間100万人以上が利用！



やすらぎ堤を望む景色がマンションの魅力を上



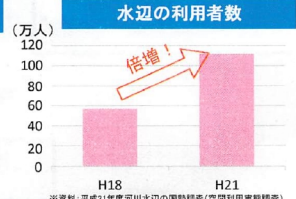
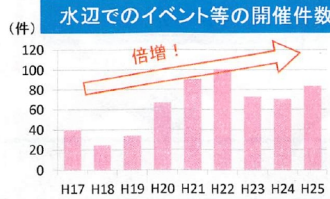
やすらぎ堤川まつり 約4万人



2011水と土の芸術祭 約50万人



新潟まつり花火大会 約52万人



※資料：平成21年度河川水辺の国際調査（空間利用実態調査）



# ミズベリング信濃川やすらぎ堤 について

水辺からやすらぎを、まちへ、人へ。  
信濃川下流河川事務所

「ミズベリング」とは、水辺の新しい活用の可能性を創造していくプロジェクトで、やすらぎ堤においても、賑わいに溢れたより良い水辺空間となる、更なる進化を目指した「ミズベリング信濃川やすらぎ堤」を進めています。

※ミズベリング(MIZUBERING)：水辺に新たな意味をかけた造語 「水辺+RING(輪)」、「水辺+R(リノベーション)+ING(進行形)」



萬代橋サンセットカフェ

もっと

地域を生き生きと元気に！

川の価値を見いだす機会を提供

地域の宝  
(川の価値)



やすらぎ堤川まつり



まちなかアウトドア



やすらぎ堤 でも...

「萬代橋橋詰のにぎわいエリア」のイメージ



道頓堀側(大阪市)

京橋川(広島市)

## ミズベリングの活動

- ・水辺を楽しむ人
- ・水辺で街を変える人
- ・水辺で新しいビジネスを作る人 を増やす



# ミズベリング信濃川やすらぎ堤の具体的な取り組み

水辺からやすらぎを、まちへ、人へ。  
信濃川下流河川事務所

先進的な取り組みを行う民間組織・仕組みづくり

ブランド価値を増大させる基盤整備の方針を共有

先進的な取り組みを行うための枠組みづくり

- ◆ミズベリング信濃川やすらぎ堤会議  
意欲ある地域・企業が集い未来展望 (H27.1.31)

- ◆ミズベリングやすらぎ堤研究会  
実行・調整を行う民間組織(H27.2発足)  
(会議開催 ①3/17、②5/25、③11/26)

- ◆やすらぎ堤デザイン検討委員会  
(会議開催 ①H27/2/5、②3/16、③7/28、④10/7)

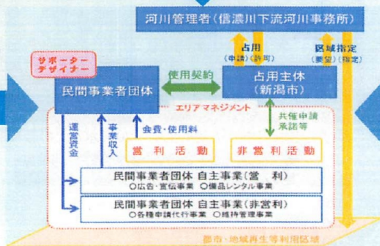
- ◆都市・地域再生等区域の指定



- 占有関連の情報提供の強化  
・占有制度や事務手続きに関するHP開設  
・相談窓口の設置

- ミズベリングタイアップ企画

- ニーズ調査



- 都市・地域再生等利用区域指定  
・地域合意を図る為の協議会を設立  
・新潟市:要望 → 河川管理者:告示  
・新潟市による一括的な占有

地域の宝(信濃川やすらぎ堤)のオープン化  
(常設店舗、イベントでの営利活動)





## ミズベリング信濃川やすらぎ堤会議

# ～みんなでえがこうやすらぎ堤の未来～

- 開催日時 平成27年1月31日(土) 13:30~17:30
- 会場 NSTゆめホール
- 参加人数 120名
- 主催 新潟市・国土交通省信濃川下流河川事務所
- 第1部 「まなぶ」先進事例基調講演 泉 英明(水都大阪パートナーズ プロデューサー)
- 第2部 「かたる」やすらぎ堤を使い、愛するパネラーによるプレゼンテーション  
パネラー・行政・会場参加者で“やすらぎ堤の未来”を討論  
コーディネーター 岩佐 明彦(新潟大学工学部建設学科 准教授(当時))  
パネラー 鈴木寿行(カフェ実行委員会代表)  
肥田野正明(志民委員会事務局長)  
小林和人(NST副部長)  
逸見覚(FM-KENTO放送局長)  
馬場伸行(ボート協会会長)  
久保田健司(ナポリピザ新潟 取締役専務)
- 第3部 「つながる」交流会



パネルディスカッションの状況



新潟市都市政策部  
池田部長の開会挨拶



信濃川下流河川事務所  
事務局長による主旨説明



水都大阪パートナーズ  
泉英明氏の先進事例基調講演

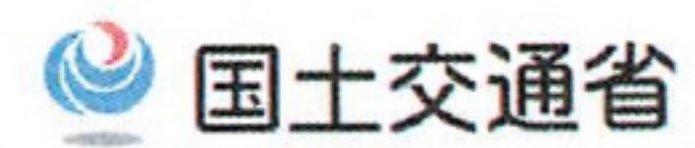


新潟大学 岩佐准教授ら  
パネラーのプレゼン



様々なアイデアが  
形になりました

## ミズベリングの取り組み (PR活動)



河川空間が 変わり始めている“ワクワク感”や  
地域・企業・行政 が 皆で水辺中心のまちづくりをしていく機運の醸成



### イベントにおけるPR活動



投票総数921票のうち  
32%がカフェ関係に投票。



まちなか アウトドア



やすらぎ堤川まつり



まちなか こどもピクニック



# 「やすらぎ堤デザイン検討委員会」

信濃川下流河川事務所

新潟市中心部を流れる「やすらぎ堤」を、賑わいに溢れたより良い水辺空間とするため、学識経験を有する方々、日頃よりやすらぎ堤を利用している方々、河川管理者、公園管理者等が“整備とデザインの方角性”を協議し、共有することを目的として設立。

## やすらぎ堤の整備状況

- やすらぎ堤区間は、延長4.5km(信濃川水門～萬代橋)の区間。
- 新光町地区(L=1,600m)、関新地区(L=250m)が未整備。今後整備を進めていく予定。



## 委員会の開催状況

第1回 (H27.2.5)

- 検討の進め方について
- 検討の観点・視点に係る現状について
- 検討事項に関する方向性について

第2回 (H27.3.16)

- 未整備区間のデザイン検討
  - ①新光町(上流・下流区間) ②関新地区
- 整備済み重点確認区間の改良デザイン検討
  - ①萬代橋～八千代橋(両岸) ②りゅーとびあ前

第3回 (H27.7.28)

- 区間全体の動線計画および機能・空間配置方針について
- 未整備区間、整備済み重点確認区間のデザインについて
- 設備等の整備に係る基本方針について

市民からの意見聴取

第4回 (H27.10.7)

- 市民意見の聴取結果について
- 委員会及び市民からの意見の反映について
- 「やすらぎ堤の整備とデザイン方針」取りまとめ

「やすらぎ堤の整備とデザイン方針」公表 (H27.11.19)

## やすらぎ堤の空間構成

- ・やすらぎ堤は、主に、水際部(護岸、植生、転落防止策等)、堤防～高水敷(通路等)、やすらぎ堤緑地で構成される。
- ・やすらぎ堤緑地は河川区域の一部を新潟市が占有し、整備・管理している都市公園

